

IV 収支計画及び資金計画

経営強化プランで定めた計画を確実に実施することにより、財務内容の改善を図るため、以下の目標を達成する。

1 経営の改善

月次の決算状況を評価・分析することにより各部門における経営実態を早期に把握し、問題点の抽出・改善を図り、経営強化プランの計画期間の各年度における経常収支比率の改善を目指す。

2 収支計画の策定

各項目の着実な実行を前提とした医業収支見込を基に収支計画を策定し、各項目について毎年度ローリングによる見直しを行い、確実な医業収支の改善を図る。

- ・市立芦屋病院収支計画（資料 1）

3 医療機器・建物整備に関する計画

安全で良質な医療の向上を維持するためには、効率的・効果的な医療機器の更新及び施設整備は不可欠なものであり、特に、老朽化している高度医療機器等の更新については、当院に期待されている診療機能との整合性や、経費面からの費用対効果を稼働率などの客観的な視点で評価し、年次計画に基づき更新する。

- ・市立芦屋病院医療機器等整備計画（資料 2）
- ・市立芦屋病院施設整備計画（資料 3）

4 債務の償還

新病棟建設事業等で借り入れた企業債及び毎年度の収支不足を補うために一般会計からの長期借入金の償還残高が、令和 3 年度末に約 77 億円となっている。その元利償還金の返済は令和 4 年度、令和 5 年度には約 9 億円を見込んでおり、経営を圧迫することが予測される。

そのため、収支相償を維持しつつ、借入金の元利償還が可能となるよう経営改善に努める。

V 市立芦屋病院経営強化プランの点検・評価・公表

経営強化プランの実効性の確保に関しては、市立芦屋病院経営強化プラン評価委員会（以下、「委員会」という。）を開催し、進捗状況等について、年1回以上の評価・検証を受けることとする。経営強化プランの実行に当たっては、委員会からの助言に基づき行うことに努める。

なお、委員会には、公募による市民委員を加え、市民の意見の反映に努める。

経営強化プランの進捗状況、委員会の評価・検証内容については、芦屋市議会に報告するとともにホームページに公開するなど、市民への情報提供を積極的に行っていく。

医療機能等に係る数値目標について〔注記〕

医療機能等に係る数値目標について

経営強化プランにおいて定める数値目標の中で、令和3年度実績を下回る目標値を設定した項目については、既に高い目標値を達成している項目であり、令和4年度以降においても、その水準の維持を目標として設定。

ページ	項目	設定理由
P. 15	逆紹介率	地域医療支援病院の承認基準である「逆紹介率 70%」を目標値として設定。
P. 15	在宅復帰率	当院の取得している施設基準「急性期一般入院基本料 1（7 対 1）」の算定要件として定められている在宅復帰率は 80%以上であるが、当院はそれを上回る 90%を目標値として設定。
P. 18	患者満足度	年 1 回実施する患者満足度調査の中で、当院の総合評価の項目に対する満足度を目標値として設定。 令和 2 年度において入院・外来共に 98%を達成しており、今後も高い患者満足度を維持できるよう質改善等に取り組むため、98%を目標値として設定。
P. 23	後発医薬品 使用率	当院の取得している施設基準「後発医薬品使用体制加算 1」の算定要件として定められている使用率 90%を目標値として設定。

市立芦屋病院 経営強化プラン評価委員会 委員名簿 (R6.7)

(順不同・敬称略)

氏 名	役 職 名 等
かみいけ わたる 上池 渉	独立行政法人国立病院機構呉医療センター 名誉院長 国家公務員共済組合連合会大手前病院 診療部顧問・中央検査部センター長
あずみ よしひろ 安住 吉弘	芦屋市医師会会長
よねだ よしまさ 米田 義正	元 三田市医療政策監
えんどう なおひで 遠藤 尚秀	大阪公立大学大学院都市経営研究科 教授・公認会計士
おくだ けんぞう 奥田 兼三	市民委員
ごくらくじ えいこ 極楽地 英子	市民委員
かしはら ゆ き 柏原 由紀	企画部長
おかざき てつや 岡崎 哲也	総務部長

資料 1

市立芦屋病院収支計画

一般病床	175床
緩和ケア病床	24床
合 計	199床

令和 6 年 7 月

総括表

I 収益の収支									
(単位：千円)									
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
1 医業収益	4,890,523	5,080,747	5,915,097	6,010,879	6,091,794	6,116,649	6,115,514	6,133,874	6,121,634
2 医業費用（減価償却費等除く）	5,274,410	5,453,975	5,895,787	5,938,717	5,980,547	5,947,085	5,950,829	6,009,023	6,025,363
3 医業損益（1－2）	△ 383,887	△ 373,228	19,310	72,162	111,247	169,564	164,685	124,851	96,271
4 医業外収益・特別利益	1,134,790	527,873	383,958	383,356	381,261	385,874	390,132	384,877	381,113
5 医業外費用・特別損失	139,471	131,907	189,836	184,793	183,371	180,961	176,787	172,449	168,537
6 減価償却前損益（3＋4－5）	611,432	22,738	213,432	270,725	309,137	374,477	378,030	337,279	308,847
7 減価償却費等	403,878	424,934	421,395	377,895	370,694	369,881	372,732	267,078	280,426
8 純損益（6－7）	207,554	△ 402,196	△ 207,963	△ 107,170	△ 61,557	4,596	5,298	70,201	28,421
9 累積損益（前年度9＋8）	207,554	△ 194,642	△ 402,605	△ 509,775	△ 571,332	△ 566,736	△ 561,438	△ 491,237	△ 462,816
【参考】 当年度未処理欠損金（税抜）	11,583,873	12,051,314	12,311,969	12,468,268	12,579,887	12,625,653	12,670,566	12,650,928	12,672,868

II 資本の収支									
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
10 資本の収入	415,627	462,289	402,653	490,681	416,449	366,253	405,727	466,240	433,512
11 資本の支出	1,008,572	1,042,347	885,014	927,718	825,827	759,759	774,263	848,288	805,149
12 差引額（10－11）	△ 592,945	△ 580,058	△ 482,361	△ 437,037	△ 409,378	△ 393,506	△ 368,536	△ 382,048	△ 371,637

III 資金余剰									
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
13 単年度資金余剰	41,706	△ 393,824	39,844	△ 57,228	△ 90,074	1,908	59,627	70,177	8,727
14 長期借入金	0	300,000	0	0	100,000	0	0	0	0
15 累積資金余剰	360,348	266,524	306,368	249,140	259,066	260,974	320,601	390,778	399,505

I 収益の収支

(単位：千円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収	医 業 収 益	4,890,523	5,080,747	5,915,097	6,010,879	6,091,794	6,116,649	6,115,514	6,133,874	6,121,634
	入院収益（一般病床）	2,621,285	2,674,041	3,297,328	3,405,040	3,445,920	3,455,366	3,445,920	3,445,920	3,445,920
	入院収益（緩和ケア病床）	384,465	399,393	378,432	378,432	378,432	379,458	378,432	378,432	378,432
	外来収益	1,240,195	1,327,212	1,451,112	1,437,480	1,474,920	1,487,160	1,481,040	1,499,400	1,487,160
	室料差額収益	197,047	215,945	305,020	308,336	309,652	311,652	311,652	311,652	311,652
	一般会計負担金	279,331	285,237	287,182	287,182	287,182	287,182	287,182	287,182	287,182
	その他医業収益	168,200	178,919	193,023	194,409	195,688	195,831	211,288	211,288	211,288
	医 業 外 収 益	1,124,573	527,720	382,958	382,356	380,261	384,874	389,132	383,877	380,113
	一般会計・他会計負担金	367,496	276,028	285,305	283,042	281,371	279,498	280,468	278,417	276,476
	その他医業外収益	757,077	251,692	97,653	99,314	98,890	105,376	108,664	105,430	103,637
益	収益合計	6,015,096	5,608,467	6,298,055	6,393,235	6,472,055	6,501,623	6,504,646	6,517,751	6,501,747
費	医 業 費 用	5,274,410	5,453,975	5,895,787	5,938,717	5,980,547	5,947,085	5,950,829	6,009,023	6,025,363
	給 与 費	3,298,630	3,400,422	3,589,588	3,588,505	3,597,978	3,555,034	3,564,570	3,604,207	3,624,116
	給 料	984,714	1,018,007	1,079,659	1,080,046	1,083,608	1,084,511	1,085,045	1,092,898	1,099,301
	手 当	974,098	974,538	1,082,314	1,087,271	1,085,837	1,086,098	1,085,892	1,098,032	1,086,357
	賞与引当金繰入額	188,291	195,063	208,573	212,182	210,707	206,892	208,317	217,054	218,104
	報 酬	630,478	624,729	608,824	591,165	592,165	593,566	593,691	599,166	601,227
	法定福利費	430,715	434,446	458,629	479,255	481,242	483,570	484,105	486,559	487,342
	退職給付費	90,424	153,639	151,589	138,586	144,419	100,367	107,520	110,498	131,785
	材 料 費	1,058,621	1,160,933	1,308,442	1,341,612	1,366,969	1,368,129	1,364,025	1,373,573	1,368,079
	経 費	909,004	881,382	983,711	990,713	997,713	1,006,035	1,004,347	1,013,356	1,015,281
	研究研修費	8,155	11,238	14,046	17,887	17,887	17,887	17,887	17,887	17,887
	医 業 外 費 用	106,847	105,469	159,836	154,793	153,371	150,961	146,787	142,449	138,537
	支払利息	82,565	79,137	78,558	72,964	69,593	65,806	61,664	57,595	53,624
	企業債利息	82,366	78,976	77,931	72,253	68,910	65,165	61,104	57,061	53,120
	長期借入金利息	199	161	252	336	308	266	185	159	129
	一時借入金利息	0	0	375	375	375	375	375	375	375
	患者外給食材料費	2,142	2,456	2,651	2,456	2,456	2,456	2,456	2,456	2,456
	雑損失・消費税	22,140	23,876	78,627	79,373	81,322	82,699	82,667	82,398	82,457
用	費 用 合 計	5,381,257	5,559,444	6,055,623	6,093,510	6,133,918	6,098,046	6,097,616	6,151,472	6,163,900
	減価償却前損益	633,839	49,023	242,432	299,725	338,137	403,477	407,030	366,279	337,847
減価償却費	減価償却費	401,080	420,945	419,277	375,777	368,576	367,763	370,614	264,960	278,308
費用等償	資産減耗費	2,798	3,989	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118
	計	403,878	424,934	421,395	377,895	370,694	369,881	372,732	267,078	280,426
	経 常 損 益	229,961	△ 375,911	△ 178,963	△ 78,170	△ 32,557	33,596	34,298	99,201	57,421
損特別利益	特別利益	10,217	153	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
益別	特別損失	32,624	26,438	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	純 損 益	207,554	△ 402,196	△ 207,963	△ 107,170	△ 61,557	4,596	5,298	70,201	28,421

Ⅱ 資本の収支

(単位：千円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収 入	企業債	186,500	210,700	194,700	296,000	209,500	139,300	173,700	235,700	203,400
	〃 (繰越)		9,900	8,000						
	他会計出資金	218,200	223,168	199,953	194,681	206,949	226,953	232,027	230,540	230,112
	補助金	3,372	16,452							
	寄附金	4,315	1,650							
	投資返還金									
	基金繰入金	3,240	419							
	固定資産売却代金									
	計	415,627	462,289	402,653	490,681	416,449	366,253	405,727	466,240	433,512
支 出	建設改良費	193,339	233,571	207,808	301,056	214,629	144,352	178,709	240,707	208,425
	増改築工事	20,641	54,752	14,030	22,462	6,550	1,312			
	〃 (繰越)		9,945							
	医療機器等購入	167,698	163,874	188,778	273,594	203,079	138,040	173,709	235,707	203,425
	〃 (繰越)									
	備品購入	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	企業債償還金	431,400	441,336	394,906	384,362	408,898	448,907	459,054	456,081	455,224
	長期借入金償還金	377,810	359,800	279,800	239,800	199,800	164,000	134,000	149,000	139,000
	投資 (職員貸付金)		1,207	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	基金造成費	6,023	6,433							
	計	1,008,572	1,042,347	885,014	927,718	825,827	759,759	774,263	848,288	805,149
資本の収支		△ 592,945	△ 580,058	△ 482,361	△ 437,037	△ 409,378	△ 393,506	△ 368,536	△ 382,048	△ 371,637

収支計画の算定にあたって

1 算定基礎

- ・令和6年4月以降の人的資源の配置から「診療機能」並び「療養環境」の充実を基本に算定する。

2 各項目の積算

(1) 収益的収支

① 入院収益

- ・病床数については199床とする。
- ・看護師配置を7:1且つ病床稼働率94%を目標とする。
- ・入院単価については、令和5年度を決算見込、令和6年度を予算と同額とし、令和7年度までに段階的に56,000円を目標とする。
- ・1日当たり患者数については、令和5年度を決算見込、令和6年度を予算と同数とし、令和8年度までに段階的に187.1人を目標とする。

② 外来収益

- ・外来単価については、令和5年度を決算見込、令和6年度を予算と同額とし、令和7年度以降は、外来患者数の回復および脳神経内科、血液内科における難治性疾患患者に対する高額薬剤の使用による増収を見込み18,000円を目標とする。
- ・1日当たり患者数については、令和5年度を決算見込、令和6年度を予算と同数とし、令和8年度までに段階的に340.0人を目標とする。

③ 室料差額収益

- ・各病室使用加算額に目標稼働率を乗じて積算

④ 一般会計負担金

- ・救急医療及び医療相談等に係る一般会計負担金を積算

⑤ その他医業収益

- ・健診、人間ドック、文書料等を積算

⑥ 一般会計補助金

- ・令和6年度予算を基準に積算

⑦ その他医業外収益

- ・レンタルテレビ使用料、駐車場使用料等（駐車場利用料47,000円/日、職員駐車場利用料6,000円/人）を積算

⑧ 給 与 費	・ 令和 6 年度予算（管理者、医師職 42 人、看護職 158 人、医療技術職 45 人、事務職 20 人の 265 人体制）を基準とする。 ・ 給料、手当等、法定福利費は、職員数の増減に合わせて積算 ・ 報酬は、令和 6 年度予算を基準とする。
⑨ 材 料 費	・ 令和 6 年度予算を基準とし、入院・外来患者の増減及び脳神経内科、血液内科における難治性疾患患者に対する高額薬剤の使用を見込み積算
⑩ 経 費	・ 令和 6 年度予算を基準に積算
⑪ 研究研修費	・ 令和 6 年度予算を基準に積算
⑫ 借入金利息	・ 企業債及び長期借入金の償還利息及び一時借入金に係る支払利息を積算
⑬ 患者外給食材料費	・ 令和 6 年度予算を基準に積算
⑭ 雑損失・消費税	・ 消費税等納税額で積算し、消費税の増税分を加算する。
⑮ 減価償却費等	・ 減価償却費、棚卸資産減耗費、固定資産除却費を積算
⑯ 特別利益	・ 過年度収益、令和 6 年度予算と同額とする。
⑰ 特別損失	・ 過年度損失、令和 6 年度予算と同額とする。
(2) 資本的収支	
① 企 業 債	・ 建設改良に係る支払資金の借入額を積算
② 他会計出資金	・ 建設改良に係る一般会計からの出資金を積算
③ 建設改良費	・ 施設建設（整備）等の投資的事業及び取得価格 10 万円以上、耐用年数 1 年以上の医療機器等の購入額を積算
④ 企業債償還金	・ 建設改良に係る借入金の償還元金を積算（借入時期・金額・利率を実績へ修正）
⑤ 長期借入金償還金	・ 一般会計借入金の償還元金を積算
⑥ 投資（職員貸付金）	・ 令和 6 年度予算と同額とする。

資 金 計 画

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
前 年 度 末 残 高	318,642	360,348	266,524	306,368	249,140	259,066	260,974	320,601	390,778
受 入 資 金	6,421,140	6,247,236	6,791,225	6,855,647	6,862,846	6,860,696	6,890,298	6,978,988	6,938,340
入 院 ・ 外 来 収 益	4,181,079	4,427,348	5,048,197	5,207,562	5,287,760	5,318,645	5,307,831	5,321,053	5,313,311
一般会計負担金・出資金	788,973	800,885	772,440	764,905	775,502	793,633	799,677	796,169	793,770
企 業 債	186,500	220,600	202,700	296,000	209,500	139,300	173,700	235,700	203,400
そ の 他 収 益	1,264,588	798,403	767,888	587,180	590,084	609,118	609,090	626,066	627,859
支 払 資 金	6,379,434	6,641,060	6,751,381	6,912,875	6,952,920	6,858,788	6,830,671	6,908,811	6,929,613
給 与 費	3,261,777	3,370,787	3,532,670	3,508,680	3,528,748	3,500,322	3,516,881	3,514,023	3,535,715
材 料 費	1,136,522	1,237,638	1,349,455	1,391,333	1,418,226	1,421,398	1,417,502	1,426,467	1,421,811
借 入 金 利 息	82,565	79,137	78,558	72,964	69,593	65,806	61,664	57,595	53,624
建設改良・器機購入	142,649	205,135	212,197	254,432	257,843	179,490	161,531	209,708	224,566
企 業 債 償 還 金	431,400	441,336	394,906	384,362	408,898	448,907	459,054	456,081	455,224
長期借入金償還金	377,810	359,800	279,800	239,800	199,800	164,000	134,000	149,000	139,000
そ の 他 経 費	946,711	947,227	903,795	1,061,304	1,069,812	1,078,865	1,080,039	1,095,937	1,099,673
収 入 ・ 支 出 差 引	41,706	△ 393,824	39,844	△ 57,228	△ 90,074	1,908	59,627	70,177	8,727
長 期 借 入 金	0	300,000	0	0	100,000	0	0	0	0
資 金 残 高	360,348	266,524	306,368	249,140	259,066	260,974	320,601	390,778	399,505

市立芦屋病院医療機器整備計画

(単位：円)

年 度	整備総額
令和4年度	172,697,847
令和5年度	168,874,321
令和6年度	193,778,000
令和7年度	278,593,448
令和8年度	208,078,600
令和9年度	143,040,000
令和10年度	178,708,046
令和11年度	240,706,580
令和12年度	208,424,682
計	1,792,901,524

医療機器等明細（取得価格300万円以上、税抜）

(単位：円)

名 称	取得年度	耐用年数	購入価格
眼科用超音波診断装置	H03	6	4,300,000
マイクロ波手術器セット	H10	6	5,101,000
ビデオエンドスコープシステム	H11	6	4,500,000
カラードブラ超音波診断装置	H13	6	17,000,000
プローブ用超音波観測装置	H13	6	3,520,000
電子内視鏡ビデオヒストロスコープ	H14	6	4,300,000
腹腔鏡手術用カメラ	H14	6	2,790,000
ベッセルシーリングシステム	H15	5	3,250,000
関節鏡セット	H15	5	3,200,000
X線一般撮影装置	H18	6	8,500,000
スリットランプ	H19	8	4,758,000
X線一般撮影装置	H19	6	10,450,000
X線血管造影装置（アンギオ）	H19	4	46,434,000
腹腔鏡システム	H20	5	5,750,000
全身麻酔装置	H20	6	4,300,000
全自動免疫測定装置	H20	6	22,900,000
密閉式自動固定包埋装置	H20	5	4,000,000
大腸内視鏡スコープ	H20	6	3,000,000
患者監視モニター	H20	6	3,850,000
救急外来血液自動分析装置	H20	6	3,000,000
血液分析装置等	H20	6	34,600,000
マンモ用コイル	H21	6	3,000,000
赤外線カメラシステム	H21	6	5,000,000
患者監視モニター	H21	6	3,150,000
超音波診断装置	H21	6	4,250,000
D P C 分析ソフト	H22	6	4,300,000
コンピューター処理放射線撮影装置	H22	6	13,000,000
高周波手術装置	H23	5	3,640,000
ホルター心電図解析装置	H23	6	15,000,000
電子カルテシステム	H24	5	429,523,810
脳波計	H24	6	3,640,000

名 称	取得年度	耐用年数	購入価格
温冷配膳車	H24	5	10,820,000
小腸用ダブルバルーン内視鏡	H24	5	4,657,000
大腸ビデオスコープ	H24	6	3,410,000
大腸ビデオスコープ	H24	6	3,410,000
大腸ビデオスコープ	H24	6	3,410,000
上部汎用ビデオスコープ	H24	6	3,664,000
上部汎用ビデオスコープ	H24	6	3,664,000
上部汎用ビデオスコープ	H24	6	3,150,000
インバータ式コードレス移動型X線装置	H24	4	3,380,000
超音波画像診断装置	H24	6	5,100,000
病室モニタシステム	H24	6	37,820,000
クリーン蒸気式高圧蒸気滅菌装置	H24	4	14,450,000
クリーン蒸気式高圧蒸気滅菌装置	H24	4	14,450,000
ウォッシャーディスインフェクター	H24	4	9,306,000
ウォッシャーディスインフェクター	H24	4	9,306,000
RO水製造装置	H24	6	9,400,000
洗濯機	H24	6	3,646,000
子宮鏡	H24	5	3,040,000
血液ガス分析装置	H24	4	3,400,000
手術室機器（シーリングペンダント・麻酔用）	H24	5	3,469,050
手術室機器（シーリングペンダント・麻酔用）	H24	5	3,469,050
手術室機器（シーリングペンダント・麻酔用）	H24	5	3,469,050
手術室機器（シーリングペンダント・麻酔用）	H24	5	3,469,050
手術室機器（超音波手術装置）	H24	5	10,470,664
手術室機器（手術台）	H24	5	9,371,569
手術室機器（プラズマ滅菌装置）	H24	5	13,348,140
手術室機器（麻酔器）	H24	5	6,287,806
手術室機器（麻酔器）	H24	5	6,287,806
手術室機器（無影灯）	H24	5	3,520,389
手術室機器（無影灯）	H24	5	3,520,389
手術室機器（無影灯）	H24	5	3,667,072
手術室機器（無影灯）	H24	5	3,667,072
手術室機器（無影灯）	H24	5	3,960,438
手術室機器（無影灯）	H24	5	3,960,438
手術室機器（無影灯）	H24	5	4,107,120
手術室機器（無影灯）	H24	5	4,107,120
心電計	H24	6	3,450,000
心電計	H24	6	3,450,000
心電計	H24	6	3,450,000
院外パソコン一式	H25	5	6,950,000
骨密度測定装置	H26	6	7,000,000
大腸カプセルシステム	H26	6	3,650,000
超音波画像診断装置	H26	6	12,500,000
移動型X線撮影装置	H27	6	3,560,000
シラス HD-OCT	H27	6	5,280,000
超音波診断装置	H27	6	4,300,000
超音波診断装置	H28	6	3,300,000
X線透視診断装置	H28	6	24,700,000
画像解析ワークステーション	H28	5	15,000,000

名 称	取得年度	耐用年数	購入価格
全自動血液凝固測定装置	H28	6	3,240,000
X線テレビシステム	H29	5	6,300,000
血糖検査システム	H29	6	7,240,000
生化学自動分析装置	H29	6	3,730,000
超音波画像診断装置	H29	6	3,200,000
内視鏡システム及び内視鏡用超音波観測装置	H30	6	18,368,800
内視鏡用光源装置・ビデオ軟性胃十二指腸鏡	H30	6	7,300,000
パワープロⅡミニドライパー式	H30	5	3,020,000
細隙灯顕微鏡システム装置	H30	6	5,496,000
内視鏡情報管理システム	H30	5	21,000,000
物質併用電気手術器	H30	5	6,250,000
磁気共鳴画像診断装置（MRⅠ装置）	H30	6	117,500,000
X線乳房撮影装置（マンモグラフィ装置）	H30	6	38,000,000
放射線情報管理システム	H30	5	75,000,000
超音波診断装置	H30	6	4,300,000
電子カルテ用端末	H30	5	5,707,400
院内情報ネットワーク	H30	5	40,914,700
直流電源装置用蓄電池（非常用バッテリー）	H30	6	4,000,000
眼軸長測定装置	R01	6	6,017,300
内視鏡手術システム等一式	R01	6	11,700,000
全身用X線CT撮影装置	R01	6	79,946,000
放射線情報管理システムサーバ容量増設	R01	5	4,600,000
検体・細菌・病理検査システム	R01	6	48,000,000
総合診断支援ネットワーク管理システム	R01	6	19,000,000
生化学自動分析装置	R01	6	16,900,000
病理ホーンスライド画像保存表示装置	R01	6	8,120,000
超音波画像診断装置	R01	6	3,950,000
電子カルテシステムサーバ	R01	5	41,063,000
電子カルテ用端末	R01	5	8,056,000
公営企業会計システム	R01	5	3,400,000
眼科用パルスレーザ手術装置	R02	5	3,636,100
遺伝子解析装置	R02	6	3,950,000
調剤支援システム及び調剤機器	R02	6	27,200,000
簡易陰圧装置	R02	5	12,500,000
屋外診察テント	R02	5	3,862,340
患者情報共有システム	R02	5	12,600,000
再来受付システム及び自動精算機等一式	R02	5	20,380,000
電子カルテ用端末（デスクトップパソコン）	R02	5	3,100,000
人事給与及び出勤システム機器	R02	5	21,147,000
ナースコールシステム機器	R02	6	8,200,000
内視鏡システム装置一式	R03	6	13,000,000
眼底カメラ用システム	R03	6	3,530,000
ビデオ鼻咽喉スコープシステム	R03	6	3,135,000
自動採血管準備装置等一式	R03	6	4,500,000
汎用超音波画像診断装置	R03	6	4,540,000
感染管理システム更新業務	R03	5	3,620,000
情報ネットワーク更新業務（Wi-Fi整備事業）	R03	5	19,899,000
電子カルテ用端末	R03	5	3,009,700
自動視野計	R04	6	6,040,000

名 称	取得年度	耐用年数	購入価格
マルチカラーレーザー光凝固装置	R04	7	11,047,000
治療用電気手術器一式	R04	6	7,002,790
内視鏡システム一式	R04	6	16,110,000
上部消化管用スコープ一式	R04	6	9,090,000
白内障手術装置	R04	5	16,820,000
汎用電動式手術台等一式	R04	5	9,148,200
子宮鏡下手術システム及びカメラヘッド一式	R04	5	4,250,000
ベッドサイドモニタ等一式	R04	6	8,093,500
凍結組織切片作成装置	R04	8	4,630,000
心臓運動負荷モニタリングシステム	R04	6	5,020,000
電子カルテ・院外ネットワーク用端末（デスクトップパソコン）	R04	5	5,167,500
情報ネットワーク更新業務（院外系ネットワークIT資産管理整備）	R04	5	5,990,000
電子カルテシステム更新業務（電子処方箋管理システム）	R04	5	3,070,000
電子カルテ用端末（デスクトップパソコン）	R05	5	17,244,500
電子カルテ用端末（ノートパソコン）	R05	5	4,454,400
遠心型血液成分分離装置	R05	8	8,800,000
内視鏡システム一式	R05	6	15,700,000
ベッドサイドモニタ等一式	R05	6	15,060,000
全自動尿分析装置及び多項目自動血球分析装置一式	R05	5	21,200,000
麻酔システム	R05	5	4,000,000
陰圧装置	R05	5	4,100,000
手術顕微鏡	R05	5	26,275,000

資料 3

施設整備計画

施設名称	建設年度	耐用年数	現況	整備費用					
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
井戸浚渫工事	H24	15	前回浚渫から10年を経過していることから、井戸水の確保のため浚渫が必要なもの		4,334				
照明LED化	H24	6	建物全体に係る照明について、LED照明への切替えを図るもの		39,919				
空調自動制御システム更新	H24	15	耐用年数超過に伴い交換・更新時期を迎えているもの				2,882	808	1,312
宿直棟外部階段更新工事	H24	10	経年劣化による一部腐食が認められることから、予防的な更新を行うもの		5,611				
冷却水処理装置更新	H24	15	経年劣化に伴う部品交換・更新を行うもの	1,650		2,442			
診療情報管理室空調増設工事	H24	15	診療情報管理室の執務室の拡張に伴い空調設備を増設するもの			2,937			
給湯器更新	H24	15	耐用年数超過に伴い交換・更新時期を迎えているもの	402		467			
ＩＴＶカメラ全体改修費	H24	6	耐用年数超過に伴い交換・更新時期を迎えているもの		9,603				
外来棟多目的トイレ改修工事	H25	15	感染症対策のため診察室へ改修するもの		5,230				
外来棟スプリンクラー更新工事	S63	18	耐用年数超過に伴い交換・更新時期を迎えているもの			8,010			
太陽光発電システムPC更新工事	H24	10	耐用年数超過に伴い交換・更新時期を迎えているもの				10,560		
外来棟屋上防水工事	H24	39	経年劣化に伴い漏水の恐れがあることから、予防的な養生防水施工が必要なもの				9,020		
厨房給湯管膨張タンク更新作業	H24	6	経年劣化に伴う部品交換・更新を行うもの			1,320			
厨房自動扉更新	H22	12	耐用年数超過に伴い、計画的に更新を行うもの					5,742	
病棟手洗い工事	H24	5	経年劣化に伴う部品交換・更新を行うもの			473			
外来棟螺旋階段・受水槽塗装工事	H25	30	経年劣化が認められることから、予防的な更新を行うもの			2,860			

(単位：千円)

施設名称	建設年度	耐用年数	現況	整備費用					
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
病院敷地整備・改修工事	H25	15	雨水対策のため敷地の一部を整備するもの			1,331			
南駐車場花壇灌水設備改修工事	H25	15	経年劣化に伴う部品交換・更新を行うもの			449			
臨床検査室天井汚損対応工事	H25	15	臨床検査室の天井に汚損を認めるため			594			
パーキングシステム新紙幣・新硬貨対応作業	H25	6	新紙幣・新硬貨に対応するためシステム更新を行うもの			558			
パーキングシステムインボイス対応基盤交換	H25	6	インボイスに対応するためシステム更新を行うもの			599			

資料 4

市立芦屋病院 経営強化プラン進捗状況

達成度【計画以上＝◎、計画通り＝○、計画未達＝×

1 経営指標に係る数値目標に関すること

項 目	単 位	4年度			5年度								自己評価		評価委員会	
		上半期 実績(A)	下半期 実績(B)	年 間 実績(C)	年 間 目標(D)	上半期 実績(E)	下半期 実績(F)	年 間 実績(G)	前年との差 G-C	前年との比率 G/C	目標到達率 G-D	目標達成率	達成度	達成度	評価の視点と助言	
(1) 経常収支比率	%	105.9	102.4	102.8	97.4	105.7	83.9	92.7	△ 10.1	90.2	△ 4.7	95.2	×	×	コロナ関連補助金の減少や企業債・長期借入金の償還等、経営面で大変厳しい状況であったと思います。 感染症対策を講じた病棟運営をしつつも、医師確保・医療DXへの推進・患者満足度の向上等に努め、経営改善を図ってください。	
(2) 医業収支比率	%	94.1	79.5	87.6	93.9	97.9	76.9	88.0	0.4	100.5	△ 5.9	93.7	×	×		
(3) 修正医業収支比率	%	88.7	75.0	82.6	89.1	92.6	72.5	83.0	0.4	100.5	△ 6.1	93.2	×	×		
(4) 入院単価	円	55,482	55,709	55,597	54,000	54,592	49,308	51,936	△ 3,661	93.4	△ 2,064	96.2	×	×		
(5) 外来単価	円	16,044	16,519	16,273	17,200	17,377	17,989	17,672	1,399	108.6	472	102.7	○	○		
(6) 病床利用率	%	68.3	71.1	69.7	85.1	75.2	76.1	75.8	6.1	108.8	△ 9.3	89.1	×	×	コロナ専用病床撤廃により利用率は上昇していますが、更なる向上に努めてください。	
(7) 1日入院患者数	人	145.3	150.9	148.1	181.1	160.9	162.5	161.7	13.6	109.2	△ 19.4	89.3	×	×		
(8) 1日外来患者数	人	316.1	310.9	313.6	310.0	307.5	310.5	309.0	△ 4.6	98.5	△ 1.0	99.7	×	×		
(9) 人件費比率 (対修正医業収益比率)	%	61.0	81.9	72.0	64.1	56.9	85.7	71.4	△ 0.6	99.2	7.3	88.6	×	×		
(10) 人件費比率（委託料込） (対修正医業収益比率)	%	71.0	91.3	80.9	72.4	65.8	95.4	79.9	△ 1.0	98.8	7.5	89.6	×	×		
(11) 材料費比率 (対修正医業収益比率)	%	23.2	22.7	22.0	21.4	24.8	23.6	23.0	1.0	104.5	1.6	92.5	×	×	今後も診療内容を向上させ収益確保に努めてください。	
(12) 医師数	人	35	37	37	40	37	36	36	△ 1	97.3	△ 4	90.0	×	×	引き続き医師の確保に努めてください。	
(13) 看護師数	人	158	150	150	155	151	155	155	5	103.3	0	100.0	○	○		

(1) 経常収支比率 ～ (3) 修正医業収支比率、(9) 人件費比率 ～ (11) 材料費比率の目標数値及び上半期・下半期の実績値は税込で算出。

(3) 修正医業収支比率：(修正医業収益／医業費用)×100 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの

(6) 病床利用率：24時現在病院に在院中の延患者数を年間病床数で除した数

(9) 人件費比率：(給与費／修正医業収益)×100 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの

(10) 人件費比率（委託料込）：((給与費＋人的委託料／修正医業収益)×100 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの

(11) 材料費比率：(材料費／修正医業収益)×100 修正医業収益は医業収益から他会計負担金を除いたもの

(9) 人件費比率、(10) 人件費比率（委託料込）、(11) 材料費比率は実績値が目標値より少ない方が良い指標である。

【令和5年度の状況】
(1) 経常損益は、441,252千円の経常損失となり、経常収支比率は92.7%で目標未達成となった。前年度と比較すると、10.1ポイントの低下となる。これは、入院収益、外来収益は増加したものの、新型コロナウイルス感染症関連の国庫補助金が交付要件変更により大きく減少したことから経常収益が410,100千円減少したこと、経常費用においても、給与費や材料費の増加により195,501千円増加したことが要因である。 (2) 医業収支は、688,118千円の医業損失となり、医業収支比率は88.0%で目標未達成となった。前年度と比較すると、0.4ポイントの上昇となる。これは、医業収益は187,345千円増加したものの、給与費や材料費等の増加により医業費用が190,508千円増加したことが要因である。 (3) 他会計負担金を除く医業収支は、973,355千円の医業損失となり、修正医業収支比率は83.0%で目標未達成となった。前年度と比較すると0.4ポイントの上昇となる。これは、医業収益（他会計負担金を除く）は181,439千円増加したものの、給与費や材料費等の増加により医業費用が190,508千円増加したことが要因である。 (4) 入院単価は、前年度と比較すると3,661円の減少となった。眼科における白内障手術の増加はあったものの、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に係る診療報酬上の特例が見直されたことによる内科の単価減少が主な要因である。 (5) 外来単価は、前年度と比較すると1,399円の増加となった。血液疾患の難病等の治療薬及び乳がん患者に対する化学療法が増加するなど、高額薬品の使用件数が増加したことが主な要因である。 (6)・(7) 病床利用率は、前年度と比較すると6.1ポイント増加、1日入院患者数についても、前年度と比較すると13.6人の増加となった。令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、10月以降は専用病棟を廃止し199床の稼働となった。これに伴い血液内科における血液疾患の患者数及び消化器内科における悪性腫瘍の患者数が増加したことが主な要因である。 (8) 1日外来患者数は、前年度と比較すると4.6人の減少となった。脳神経内科、産婦人科、呼吸器内科医師の退職及び下肢静脈瘤外来（外科）の休診に伴う患者数の減少が主な要因である。 (9) 人件費比率は、前年度と比較すると0.6ポイント低下したが、目標未達成となった。 修正医業収益は181,439千円増加したものの、看護職の処遇改善や給料のベースアップ、医療技術職等の職員数増加により給与費が101,801千円増加したことが要因である。 (10) 人件費比率（委託料込）は、前年度と比較すると1.0ポイント低下したが、目標未達成となった。(9)に記載の内容が主な要因であり、人的委託料は前年度に比べて1,532千円減少した。 (11) 材料費比率は、前年度と比較すると1.0ポイント上昇し、目標未達成となった。 修正医業収益は181,439千円増加したものの、抗がん剤等の単価の高い注射薬の使用件数が増加したことにより、材料費全体で90,165千円増加したことが要因である。 (12) 医師数は、令和5年度に4名採用したものの、前年度末に1名退職、令和5年度途中に4名退職しており、増員の確保もできなかったため、目標未達成となった。 (13) 看護師数は、前年度末に7名退職、令和5年度途中に4名退職したものの、令和5年度に16名採用したことから、前年度より5名の増加となり目標を達成した。

市立芦屋病院 経営強化プラン進捗状況

達成度【計画以上＝◎、計画通り＝○、計画未達＝×】

2 診療機能並びに質向上等に係る数値目標に関すること

項 目	単 位	4年度			5年度								自己評価	評価委員会	
		上半期 実績(A)	下半期 実績(B)	年 間 実績(C)	年 間 目 標(D)	上半期 実績(E)	下半期 実績(F)	年 間 実績(G)	前年との差 G-C	前年との比率 G/C	目標到達差 G-D	目標達成率		達成度	評価の視点と助言
(1) 人間ドック件数	件	635	647	1,282	1,200 (600)	663	655	1,318	36	102.8	118	109.8	○	○	
(2) 救急受入患者数	件	2,601	1,936	4,537	4,900 (2,450)	2,400	2,698	5,098	561	112.4	198	104.0	○	○	感染症対策を行いながら、地域の急性期病院・政策医療としての役割を果たしていることを評価します。
(3) 救急搬送応需率	%	72.3	74.8	73.5	90.0	78.6	79.8	79.2	5.7	107.8	△ 10.8	88.0	×	×	
(4) 手術件数	件	1,223	1,257	2,480	3,000 (1,500)	1,290	1,216	2,506	26	101.0	△ 494	83.5	×	×	
(5) リハビリテーション件数	件	18,617	19,389	38,006	46,440 (23,220)	17,805	16,263	34,068	△ 3,938	89.6	△ 12,372	73.4	×	×	
(6) 紹介率	%	39.4	44.9	42.1	50.0	43.9	45.4	44.6	2.5	105.9	△ 5.4	89.2	×	×	
(7) 逆紹介率	%	74.8	80.9	77.8	70.0	78.0	80.4	79.2	1.4	101.8	9.2	113.1	○	○	
(8) 在宅復帰率	%	95.5	94.7	94.7	90.0	94.0	95.2	95.2	0.5	100.5	5.2	105.8	○	○	
(9) 退院支援介入率	%	37.5	36.9	37.0	36.0	35.1	35.9	35.5	△ 1.5	95.9	△ 0.5	98.6	×	×	
(10) クリティカルパス適用率	%	57.4	54.5	55.9	50.0	56.8	52.0	54.5	△ 1.4	97.5	4.5	109.0	○	○	
(11) 患者満足度(外来)	%		99.0	99.0	98.0		97.0	97.0	△ 2.0	98.0	△ 1.0	99.0	×	×	今後も待ち時間の短縮改善に努めてください。
患者満足度(入院)	%		100.0	100.0	98.0		100.0	100.0	0.0	100.0	2.0	102.0	○	○	
(12) 臨床研修医数	人	10	8	8	12	10	10	10	2	125.0	△ 2	83.3	×	×	
(13) 専門・認定看護師	人	13	14	14	14	12	10	10	△ 4	71.4	△ 4	71.4	×	×	今後も専門・認定看護師確保に努めてください。
(14) 後発医薬品使用率	%	93.7	93.2	93.5	90.0	94.7	94.5	94.6	1.1	101.2	4.6	105.1	○	○	

(1) 人間ドック、(2) 救急患者数、(4) 手術件数、(5) リハビリテーション件数の目標到達差及び目標達成率については当該目標数値の1/2を目標数値として計算。() 内の数値が半期の目標値

【令和5年度の状況】

- (1) 人間ドック件数は、前年度と比較すると36件増加し、目標を達成した。受診者の安心・安全を第一と考え、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行となった後も、引き続き感染症対策に取り組んだことや、受診者のニーズに対応できるように人間ドックのオプション検査を充実させるとともに、ケーブルテレビや広報誌HOPEplusで積極的に情報提供を行った。また、健康フォーラムや日曜健康診断での啓発活動に加え、広報あしや等の広報媒体を利用し、受診勧奨したことが件数増加につながった主な要因である。
- (2)・(3) 救急受入患者数は、前年度と比較すると561人増加し、目標を達成した。また、救急搬送応需率は5.7ポイント増加したが、目標未達成となった。発熱や呼吸苦などの症状に加え、肺炎などの高齢者疾患の救急搬送要請が増加したことにより、救急受入患者数は増加したものの、収容が集中したため、受入困難などの状況が発生したことが主な要因である。
- (4) 手術件数は、前年度と比較すると26件増加したものの、目標未達成となった。大腸内視鏡手術や白内障手術は増加したものの、産婦人科の医師数の減少に伴い、子宮全摘術や膀胱脱手術が減少したことが主な要因である。
- (5) リハビリテーション件数は、前年度と比較すると3,938件減少し、目標未達成となった。整形外科の外来患者数増加に伴い運動器リハビリテーションは増加したものの、脳神経内科の医師数の減少に伴い、呼吸器リハビリテーション、脳血管疾患等リハビリテーションが減少したことが主な要因である。
- (6) 紹介率は、前年度と比較すると2.5ポイント上昇したが、目標未達成となった。紹介件数、救急患者数は増加したものの、紹介状を持たずに受診する初診患者も増加したことが要因である。
- (7) 逆紹介率は、前年度と比較すると1.4ポイント上昇し、目標を達成した。連携登録医療機関を中心とした情報の発信・収集、近隣開業医を紹介する「かかりつけ医カード」の活用、当院ホームページから連携医療機関のホームページへアクセスが可能となり、かかりつけ医を見つけやすくなった、返書チェックの強化、診療情報提供料の適正な算定に積極的に取り組んだことが要因である。
- (8) 在宅復帰率は、前年度と比較すると0.5ポイント増加し、目標を達成した。目標の90%並びに急性期一般入院料1の要件である80%を達成している。一般病棟からの退院患者の95.2%が自宅及び特別養護老人ホームなどの居住系介護施設へ退院しており、在宅復帰率の計算上対象外となる一般病棟等への転院は少数であった。入退院支援センターや地域連携室において入院早期から退院困難な患者を抽出し、退院支援を実施するなど退院調整に取り組んでいることが要因である。
- (9) 退院支援介入率は、前年度と比較すると1.5ポイント減少したが、目標未達成となった。入院早期から退院支援についての説明を行っており、退院支援への介入患者数は全退院患者数の35.5%を占めている。円滑な退院支援のため、地域連携室が後方支援会議を毎月開催し、事例検討や、倫理的課題、社会資源の活用等について協議を行い、質の向上に努めている。
- (10) クリティカルパス適用率は、前年度と比較すると1.4ポイント減少したが、目標を達成した。クリティカルパス委員会にて定期的に適正化を図っていることに加え、小児肺炎の流行、新型コロナウイルス感染症及び大腸内視鏡手術の患者増加により、適用件数が増加したことが主な要因である。
- (11) 患者満足度については、外来は前年度と比較すると0.2ポイント減少し、目標未達成となった。
入院については、前年度と同じ100%で目標達成となった。自由記載欄において、入院・外来共に医師・看護師等のスタッフへの感謝のメッセージが多く寄せられた。そのほか、入院では面会に関する要望、外来では待ち時間の短縮、診療体制に関する要望などのご意見が寄せられた。
- (12) 臨床研修医数は、後期研修医を6名確保できたものの、初期研修医(一年目)が4名の合計10名となり、目標未達成となった。
- (13) 認定看護師数は、退職等により合計10名体制となり、目標未達成となった。
- (14) 後発医薬品使用率は、前年度と比較すると1.1ポイント増加し、目標を達成した。薬事委員会において、対象医薬品の抽出等を実施し、後発医薬品への転換を継続的に検討していることが要因である。

市立芦屋病院 経営強化プラン進捗状況(年度別推移)

1 経営指標に係る数値目標に関すること

項 目	単位	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度		
		目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率
(1) 経常収支比率	%	96.8	102.8	106.2%	97.4	92.7	95.2%	97.2		0.0%	98.8		0.0%	99.5		0.0%	100.5		0.0%
(2) 医業収支比率	%	92.7	87.6	94.5%	93.9	88.0	93.7%	93.6		0.0%	95.2		0.0%	95.9		0.0%	96.8		0.0%
(3) 修正医業収支比率	%	87.8	82.6	94.1%	89.1	83.0	93.2%	89.1		0.0%	90.6		0.0%	91.4		0.0%	92.3		0.0%
(4) 入院単価	円	53,000	55,597	104.9%	54,000	51,936	96.2%	55,000		0.0%	56,000		0.0%	56,000		0.0%	56,000		0.0%
(5) 外来単価	円	17,000	16,273	95.7%	17,200	17,672	102.7%	18,700		0.0%	18,000		0.0%	18,000		0.0%	18,000		0.0%
(6) 病床利用率	%	80.5	69.7	86.6%	85.1	75.8	89.1%	86.0		0.0%	86.9		0.0%	87.8		0.0%	87.8		0.0%
(7) 1日入院患者数	人	172.0	148.1	86.1%	181.1	161.7	89.3%	183.1		0.0%	185.1		0.0%	187.1		0.0%	187.1		0.0%
(8) 1日外来患者数	人	300.0	313.6	104.5%	310.0	309.0	99.7%	320.0		0.0%	330.0		0.0%	340.0		0.0%	340.0		0.0%
(9) 人件費比率（対修正医業収支比率）	%	66.9	72.0	92.4%	64.1	71.4	88.6%	63.8		0.0%	62.7		0.0%	62.0		0.0%	61.0		0.0%
(10) 人件費比率（委託料込） （対修正医業収支比率）	%	75.8	80.9	93.3%	72.4	79.9	89.6%	71.8		0.0%	70.6		0.0%	69.8		0.0%	68.9		0.0%
(11) 材料費比率（対修正医業収支比率）	%	20.7	22.0	93.7%	21.4	23.0	92.5%	23.2		0.0%	23.4		0.0%	23.5		0.0%	23.5		0.0%
(12) 医師数	人	40	37	92.5%	40	36	90.0%	42		0.0%	42		0.0%	42		0.0%	42		0.0%
(13) 看護師数	人	155	150	96.8%	155	155	100.0%	158		0.0%	158		0.0%	158		0.0%	158		0.0%

2 医療機能等に係る数値目標に関すること

項 目	単位	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度			
		目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	目 標	実 績	達成率	
(1) 人間ドック件数	件	1,200	1,282	106.8%	1,200	1,318	109.8%	1,300		0.0%	1,300		0.0%	1,400		0.0%	1,400		0.0%	
(2) 救急受入患者数	件	4,700	4,537	96.5%	4,900	5,098	104.0%	5,100		0.0%	5,200		0.0%	5,200		0.0%	5,200		0.0%	
(3) 救急搬送応需率	%	90.0	73.5	81.7%	90.0	79.2	88.0%	91.0		0.0%	92.0		0.0%	93.0		0.0%	93.0		0.0%	
(4) 手術件数	件	3,000	2,480	82.7%	3,000	2,506	83.5%	3,100		0.0%	3,100		0.0%	3,100		0.0%	3,100		0.0%	
(5) リハビリテーション件数	件	42,480	38,006	89.5%	46,410	34,068	73.4%	50,040		0.0%	50,040		0.0%	50,040		0.0%	50,040		0.0%	
(6) 紹介率	%	50.0	42.1	84.2%	50.0	44.6	89.2%	50.0		0.0%	50.0		0.0%	50.0		0.0%	50.0		0.0%	
(7) 逆紹介率	%	70.0	77.8	111.1%	70.0	79.2	113.1%	70.0		0.0%	70.0		0.0%	70.0		0.0%	70.0		0.0%	
(8) 在宅復帰率	%	90.0	94.7	105.2%	90.0	95.2	105.8%	90.0		0.0%	90.0		0.0%	90.0		0.0%	90.0		0.0%	
(9) 退院支援介入率	%	35.0	37.0	105.7%	36.0	35.5	98.6%	36.0		0.0%	37.0		0.0%	37.0		0.0%	37.0		0.0%	
(10) クリティカルパス適用率	%	50.0	55.9	111.8%	50.0	54.5	109.0%	52.0		0.0%	52.0		0.0%	52.0		0.0%	52.0		0.0%	
(11)	患者満足度（外来）	%	98.0	99.0	101.0%	98.0	97.0	99.0%	98.0		0.0%	98.0		0.0%	98.0		0.0%	98.0		0.0%
	患者満足度（入院）	%	98.0	100.0	102.0%	98.0	100.0	102.0%	98.0		0.0%	98.0		0.0%	98.0		0.0%	98.0		0.0%
(12) 臨床研修医数	人	12	8	66.7%	12	10	83.3%	12		0.0%	12		0.0%	12		0.0%	12		0.0%	
(13) 専門・認定看護師数	人	14	14	100.0%	14	10	71.4%	14		0.0%	14		0.0%	15		0.0%	15		0.0%	
(14) 後発医薬品使用率	%	90.0	93.5	103.9%	90.0	94.6	105.1%	90.0		0.0%	90.0		0.0%	90.0		0.0%	90.0		0.0%	

【令和5年度の主な取組】

I 当院の目指すべき方向

取組項目	計画本文	取組内容・効果等
3 役割・機能の最適化と連携の強化 (3) 機能分化・連携強化への取組 (P.6)	「h-Anshin むこねっと」に参加し、逆紹介の推進及び各種連携パスへの参加など地域医療の効率化を目指す。なお、当院は神戸圏域とも隣接しており、当院独自のITネットワークである「芦っこメディカルリンク」を活用し、患者の診療情報を共有するなど連携強化を図る。 (※計画本文一部割愛)	患者の逆紹介時等に積極的に「h-Anshin むこねっとシステム」、「芦っこメディカルリンク」を活用し、連携強化を図った。 h-Anshin むこねっとシステム利用件数 R5 年度 143 件（前年度比 26 件減少） 芦っこメディカルリンク利用件数 R5 年度 49 件（前年度比 22 件減少）

II 市民に提供する診療機能並びに質向上への取組

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項1】 がん対策の強化 (P.10)	①がん医療の充実 - 手術、化学療法、放射線治療（他の医療機関との連携による）、緩和ケアを効果的に組み合わせた集学的な治療を提供するとともに、患者のQOL向上を目指した総合的な医療とケアを提供する。 - 診療体制の充実を図るため、腫瘍内科医、呼吸器内科医の増員に取り組む。 - 当院の特色でもあるサポーターズケアチーム¹の早期介入により、化学療法における副作用や痛みなどの症状緩和、家族ケア、意思決定支援、緩和ケア病棟へのスムーズな移行等を行い、患者・家族が安心して治療が受けられるよう取り組む。 (※計画本文一部割愛)	- 入院化学療法症例件数 R5 年度 233 件（前年度比 25 件減少） - 外来化学療法件数 R5 年度 1,314 件（前年度比 327 件増加） - がん症例手術数 R5 年度 72 件（前年度比 2 件減少）

¹ がん患者、心不全患者、慢性疼痛患者の疼痛ケアに取り組むチーム医療。医師、看護師、薬剤師、公認心理師等により構成される

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項 1】 がん対策の強化 (P. 10)	②各種検診業務の拡充 ・疾病の早期発見、早期治療を促進するため、人間ドック、各種がん検診、特定健診、生活習慣病予防検診の受診者数増加に向けて取り組む。特に人間ドックはオプション検査やコースの充実を図るとともに、検査枠を増加することで、受診者数の増加を図る。 ・地域住民を対象とした「あしや健康フォーラム」や「ホスピタルフェスタ」、公開講座などを定期的に開催し、疾病予防の啓発活動に積極的に貢献する。	- 人間ドック、各種がん検診 人間ドック R5 年度 1,318 件（前年度比 36 件増加） 各種がん検診 R5 年度 8,969 件（前年度比 832 件増加） - 人間ドックの新規オプション検査として CGM(持続血糖測定)を追加 - CATV 用に人間ドックオプションについて広報番組を放映
1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項 2】 救急医療のさらなる充実 (P. 11)	①救急医療体制の強化 引き続き内科二次救急体制、外科系救急体制を 24 時間 365 日堅持し、小児救急体制及び消化器内視鏡救急体制を継続する。また、これまで以上に救急隊や地域の医療機関からの緊急診療要請に対応できるよう、救急専従医師の配置を行うとともに、救急医療に携わる人材の確保・育成に努める。今後も安定した救急医療体制を提供することで、地域住民の安心及び安全を守り、地域の中核病院としての役割を果たす。	救急患者数 R5 年度 5,098 件（前年度比 561 件増加） 発熱や呼吸苦などの症状に加え、肺炎などの高齢者疾患の救急搬送要請が増加した。
1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項 3】 外科系診療の充実 (P. 11)	①外科系手術の拡充 救急受入れの強化、各種検診の取組強化により外科系疾患の患者を積極的に受け入れし、手術件数の増加を目指す。また、効率的な手術室稼働が出来るよう麻酔科医や手術室等のスタッフの充実を図り、外科系手術の増加を目指す。	R5 年度 2,506 件（前年度比 26 件増加） 大腸内視鏡手術や白内障手術は増加したものの、産婦人科の医師数減少に伴い、子宮全摘術や膀胱脱手術が減少した。

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
1 市民に提供する診療機能の充実 【取組事項5】 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 (P. 13)	①新型コロナウイルス感染症への対応 芦屋市、芦屋健康福祉事務所（芦屋保健所）、芦屋市医師会等の関係医療機関と連携を図りながら、外来診療、陽性患者の入院診療、リスクの高い患者へのワクチン接種などに積極的に取り組み、公立病院としての役割を果たす。	R5 年度の患者数 疑い患者数 1,590 人（前年度比 491 件増加） PCR 検査件数 1,590 件（前年度比 491 件増加） 陽性患者数 429 人（前年度比 299 件減少） 入院延べ患者数（※陽性者）2,320 人日（前年度比 544 件増加） ・ R5 年度下半期から新型コロナウイルス感染症患者受入専用病棟は廃止し、各病棟にある陰圧室を使用して陽性患者を受け入れる体制へ変更。 ・ 外来診察室を改修し感染対策機能を強化した。
2 地域医療への貢献 (P. 15～P. 16)	(2)地域包括ケアシステム推進への貢献 患者が安心して住み慣れた地域で療養できるよう、入院初期の段階から積極的に退院支援を行うとともに、患者の状況に応じた支援を行っていく。特に在宅復帰を目指す患者が在宅へ円滑に移行できるよう、地域のかかりつけ医、介護老健施設、地域包括支援センター等との連携強化を進めるとともに、退院前カンファレンスを積極的に実施する。 今後も市の地域包括ケアシステムを推進し、患者に寄り添ったきめ細やかな対応ができるよう、地域連携室には退院支援に精通した看護師、社会福祉士を配置するとともに、入退院支援センターの拡充にも取り組むなど、地域の中核病院として積極的に役割を担っていく。	・ 「 <u>入退院支援センター²</u> 」における予定入院患者に対する介入支援 外 科 R5 年度 92.3%（前年度比 0.1 ポイント上昇） 婦人科 R5 年度 99.8%（前年度比 0.5 ポイント上昇） 地域連携室において入院早期より退院困難な患者の抽出を実施。R5 年度は全退院患者の 35.5%に介入支援を行った。転帰先は概ね在宅、施設への再入所であり、在宅医療を担う開業医や訪問看護師、ケアマネジャーとの連携に引き続き努めた。 在宅復帰率は 95.2%であり、目標値の 90%及び急性期一般入院基本料 1 の要件 80%を達成した。 ・ メディカル・ソーシャル・ワーカー 1 名増員

² 入院を予定している患者が入院生活や入院後にどのような治療経過を経るのかをイメージし、安心して入院医療を受けられるよう、入院中に行われる治療の説明、入院生活に関するオリエンテーション、服薬中の薬の確認、褥瘡・栄養スクリーニング等を、入院前の外来において実施し、支援を行う部門として設置

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
2 地域医療への貢献 (P. 15～P. 16)	(4) 市民への医療情報の提供・発信 ① 当院の役割や機能、特色、治療方針、経営状況等について、広く市民の理解が得られるよう、広報誌やホームページ、SNS、ケーブルテレビ等の多様な媒体を活用した積極的な広報に努める。また、市民がわかりやすい広報誌や病院パンフレットの改善を図るとともに、ホームページの充実に取り組む。 ② 最新の医療情報や新たな治療法について、地域住民を対象とした公開講座やセミナー等を開催し、医療に関する知識の啓発に努める。(※計画本文一部割愛)	- 市民向け広報誌「Hope Plus」等の定期的な広報物の発行を実施。 - 公開講座 R5 年度 11 回開催、参加人数 500 人 - 糖尿病教室 院内で集合形式の教室が開催できないため、「ねっと版糖尿病教室」と題して、当院のホームページ上へ資料を掲載し情報発信を行った。 - あしや健康フォーラム 2023「フレイルを知ろう～健康寿命を伸ばすために～」を開催（令和 5 年 9 月 2 日 250 名参加） 令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催を中止していたが、感染対策を講じた上で 3 年ぶりに開催した。
4 医療 ICT 化への取組 (P. 18)	(1) 国が推進する医療 ICT 化への取組 オンライン資格確認等システムを基盤とした、重複投薬の回避にも資する電子処方せんの導入や患者個々の手術、移植及び透析等の医療情報を全国で確認できるシステムの導入が今後進められるため、セキュリティ対策や導入にかかるコストの費用対効果を十分に検証しつつ、医療 ICT 化への取組を進める。	電子処方箋の運用開始について、全国の医療機関に先んじた取組として、日本文書情報マネジメント協会の機関誌 IM（2023 年 9・10 月号）へ掲載され、優秀事例としてベストプラクティス賞（優秀賞）を受賞。

Ⅲ 業務運営効率化への取組

取組項目	計画内容	取組内容・効果等
2 優れた専門職の確保と人材育成、並びに働き方改革への取組 (1) 医師、看護師の確保について (P. 19)	①医師確保と働き方改革について ②看護師確保と働き方改革について (※計画本文割愛)	・ <u>看護補助体制充実加算³</u>の新規取得 ・ 看護師から看護補助者へのタスクシフトを推進するため、看護師長は看護補助者の育成等に関する指定研修を受講し、その他の全看護師は看護補助者との協働等に関する研修を受講した。看護補助者にも業務マニュアルを用いた研修を実施し、看護職員や看護補助者へより充実した研修を行った事を評価する「看護補助体制充実加算」の施設基準を4月に新規取得した。

³ 看護職員及び看護補助者の業務分担・協働を更に推進する観点から、看護職員及び看護補助者に対してより充実した研修を実施した場合1日につき5点の算定が可能。